芳川會長を除名す

持次に發した東京工廠職工

八幡製鐵所同志會代表も參加

日本勞働總聯盟地方幹部會は二十四日午後一時半から東京小石川大塚仲町の西信寺に於て開會、八幡製鐵所同志會代表村田、中田兩氏も加はり安達理事長席に着き杉木氏の經過報告に次いで各工廠の代表者交々起つて當局の態度を難じ過日大阪工廠を訪れた横田氏は大阪の狀況及び交渉顛末を報告し今回の爭議に對し八幡同志會より贈つた同情金を手渡した、かくて持久戰か罷業斷行かを協議した結果大阪、名古屋の工廠向上會が奮起するを待たず單獨にて持久する に決し實行委員十五名を擧げて兩

[illegible]

兩工廠の提携は大阪方から斷る

時機尚早の理由で

大阪砲兵工廠向上會は二十六日夜本部に役員會を開き次で各工場の代議員會を開き最に東京砲兵工廠の岡田理事來阪して來援を求めたるに付き協議の結果行動を共にするは時期尚早として此の際目下ず

[illegible]（大阪電話）

大阪工廠職工動く

七、二四向上會は東京とは呼應せぬが

報德會に反感を抱く

東京砲兵工廠職工から罷業を勸誘されて岐曲に捆縛した大阪工廠向上會では應援は[illegible]全會員の意見に依つては承認要求書を提げて起つことゝして二十[illegible]五十名の幹部は休憩時間を利用し東京側が當局に提起した三箇條の要求事項に之に對する當局の回答及び現況を視いて右の要求條件の下に蹶起するか否かの大體意見を徴したところ

「東京の要求は勞働問題の根幹に觸れて居ぬ枝葉條件で[illegible]早計である」との事に[illegible]部職工間には根本問題を提げて武的に闘爭す可しとの聲もあつたが[illegible]二十二日に[illegible]工廠内に[illegible]勢力を張つてゐる報德會に對する極度の反感から[illegible]

[illegible]沸たる氣勢に[illegible]

二十二日の如きは職工幹部の運動に依つて速に[illegible]には[illegible]すべしと唱ふるものさへあり[illegible]職工幹部は本部に集合協議を[illegible]したが兩三日中には一般投票に依るか代表者大會を開くかして[illegible]後の態度を決するといふ

向上會遂に起たず

大阪代議員會で即決す

東京とは愈絶縁

[illegible]

提携を誓って八幡の代表歸る

大汁にまみれ代表歸る

汗みづくの激勵演說

「諸君我々の運動は單に[illegible]としての運動ではない[illegible]級の叫びである、血と汗との結晶[illegible]」となつて叫ぶ、八[illegible]は資本家の[illegible]となるのである[illegible]一つかへつて[illegible]二十六日午後二時[illegible]開かれた[illegible]横山[illegible]の後を承けた[illegible]

[illegible]

大阪は起たず

東京の態度を疑ふ

大阪砲兵工廠向上會では東京砲兵工廠職工に呼應して[illegible]十六日午後七時から本部で代議員會開き出席百五十名[illegible]を報告して一般投票に[illegible]かを諮りて即決となり[illegible]今回は自重する事と[illegible]斷然起たぬ事に決し[illegible]

海軍工廠側も呼應して起つ

陸軍職工團の爲めに同情資金を贈り演說會を開いて極力應援

築地 海軍工廠の日本勞働[illegible]

[illegible]約に基いて、八幡製鐵所の同志會と共に、東京陸軍職工團の爲に[illegible]て應援すべく、演說會を開催すると共に同情金を贈る事となり、廿五日[illegible]代表から

陸軍 職工團本部に通告して來た、演說會は近く明治會館に於[illegible]

演說 なお來[illegible]く、廿[illegible]

[illegible]ホーカー[illegible]

砲兵工廠の同盟罷業に大阪方は別行動

東京方の態度不鮮明から

名古屋工廠も同樣

大阪砲兵工廠向上会代議員会は廿六日午後七時から大阪市東区島町[illegible]大阪砲兵工廠向上会及び名古屋[illegible]に對し[illegible]態度を評議したが[illegible]

向上會本部 に各工場職[illegible]支部は東京方の

態度不鮮明 なるを理由工を代表する代議員百五十三名參集し今回の東京砲兵工廠職工罷業として之が勸誘を斷然拒絶する事に決し[illegible]より行動を共にすべく勸誘されたを決議午後九時散会した（大阪）

[illegible]

路頭に迷ふ火具職工

解散復活を陳情す

府下王子十條の陸軍火具製造所の[illegible]官工場爆管科第一班四十二名の男女工は去る廿六日

解散され たるが其後各自の運動にて夫々他の工場に職を求め就職したる者あるも失職者もあるより廿八日午後[illegible]時より解職男女工四十二名と同情的應援の他工場の男女工合計二百餘名は食後の休憩時間を割いて同工場内の會食場に集合して解散班復活の協議會を開きたる結果今廿九日午前九時の休憩時間を利用して事務所詰の

所長代理 神大尉に面會し解散理由を質し復籍策につき陳情することにして同三十分散會せり

神大尉曰く 今回 解散の理由は同科園山工長よりの申告に基きたるものにして同科は近來仕事振に傾きし結果男女職工等は解散を希望し他の擴大なる工場に職を求めたき意嚮あるより起りしやに聞及ぶ[illegible]其間には種々なる事情ある[illegible]噂もあれば若し解散の[illegible]の陳述の機會あらば其際詳しく調査の必要ありと思へり要するには事業の不振と職工間の感情の衝突に過ぎずと觀察さる

砲兵工廠職工の運動應援

八幡製鐵職工有志の

[illegible]

斷然奮起

東京砲兵工廠

八幡製鐵所同志會からの代表委員中田村田等を迎へ廿四日午後一時から東京小石川大塚仲町西信寺で陸軍職工團の日本勞働聯盟委員會が開かれ小石川王子大塚目黑巣鴨板橋の各工場代表者百名は先づ杉木幹事の挨拶で安達和氏が議長席につき各工場の

代表委員の[illegible]後[illegible]大阪名古屋兩砲兵工廠[illegible]上會の[illegible]である[illegible]て蹶起を望む」との決議をなし[illegible]入り大阪、名古屋[illegible]先も角も東京は斷然奮起と決し[illegible]臣と面會の件に付き議論があつたが最後通牒として[illegible]する事に決した[illegible]廿五日は午後[illegible]り小石川[illegible]で大會を開き今後の運動方法に付いて協議する筈（東京電話）

大阪工廠職工烈衝

東京側に通告

神戸爭議には應援

東京砲兵工廠より再三勸誘を受け協議中なりし大阪砲兵工廠職工團向上會は廿六日夕刻より開會されたる代議員會の

決議の 結果斷然[illegible]ることに決し東京工廠に[illegible]答をなし日本勞働聯盟とも關係を斷つことを宣言せり理由とはありて要求條項は[illegible]に[illegible]日本勞働聯盟に利用されたる觀らざる爲めなりと[illegible]大阪砲兵

向上會 は神戸川崎三菱罷業職工團に出來得る限りの援を與ふることゝなり廿七日は物質的の援助をなす旨申込み二十八日は罷業團行商隊を大阪砲兵工廠の門前に招き

六千人 の職工をして[illegible]少なりと買はしめることゝなつた（大阪電話）

神戸製鋼所

全く解決

[illegible]神戸製鋼所の[illegible]に向ひ廿八[illegible]工場[illegible]後[illegible]條件で就業することに決定[illegible]廿九日は全職工中百五十八名の出勤を見、今後も追々增加の見込である、之れに就し會社側でも何等か優遇案を講ずる筈で本月十一日以來の爭議も茲に全く解決を告げた